

都市再生整備計画(精算報告)

きたきゅうしゅうしこくらしんちく
北九州市小倉都心地区

ふくおか きたきゅうしゅうし
福岡県 北九州市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	福岡県	市町村名	北九州市	地区名	小倉都心地区	面積	380 ha
計画期間	平成	2	年度	～	平成	25	年度
				交付期間	平成	21	年度
					～	平成	25
							年度

目標

大目標:小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。

目標1	個性的で多彩な魅力とアメニティの豊かさによって、多くの人をひきつける都心をつくる
目標2	多くの人が集まって、便利に、安全・安心に暮らすことができる都心をつくる
目標3	人や産業の交流が活発で円滑に行われる、充実した交通機能が利用しやすい都心をつくる
目標4	世界の環境首都を目指す北九州市のシンボルとなる、地球環境に配慮した都心をつくる

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

【小倉都心地区の現況】

- ・小倉都心地区は、北九州市周辺を含む200万都市圏の中核として、商業、業務・サービス、公共公益機能など、さまざまな高次の都市機能が集積する一方、紫川河畔は親水アメニティ空間が広がり、勝山公園周辺には小倉城をはじめ、歴史・文化的資産が多く存在している。
- ・小倉駅周辺は九州の玄関口として、鉄道、道路、海上の多様な交通モードが結節しており、駅南北の再開発や駅の改築、駅前広場、ペDESTリアンデッキの整備などによって、交通結節機能と一体的な商業施設が立地している。また、駅北口には、コンベンション・ビジネス機能が集積している。
- ・紫川周辺は、紫川マイタウンマイリバー整備事業として、親水空間の整備や沿川の再開発などが進められて、大型集客施設が集積する河畔一帯は北九州を代表する賑わいエリアになっている。
- ・マンション立地は都心周辺部が最も活発であり、利便さを重視する都市生活志向が高いことがうかがえる。

【一期計画の実施による成果と課題】

- ・紫川周辺では、親水空間の整備が進められ、勝山公園と一体となった魅力的なオープンスペースとなり、多くの市民に、憩いの場として活用されており、北九州を代表する景観へと変貌している。今後も質の高い都市環境を形成していくことが求められる。
- ・市街地再開発事業と一体となった歩道の整備などによって、安全で安心して歩ける歩行空間が確保された。今後、さらに歩行者や自転車利用者が移動しやすい環境整備を図ることによって、集客及び回遊性の向上を図る必要がある。
- ・都心の賑わいづくり推進事業をはじめ、子育て支援施設、観光文化施設等の整備によって、街なかにおける新たな魅力の創出が図られたものの、賑わいが街全体に波及するまでには至っておらず、賑わいを面的に拡大させる必要がある。

【二期計画の実施にあたって】

- ・地区内の商業は、都市間競争の活発化や、全市的な人口減少、高齢化の進展などを背景に、小売業年間商品販売額や、大規模商業施設の来店者数などが減少している。
- ・平成20年7月に「北九州市中心市街地活性化基本計画(小倉地区)」の認定を受け、小倉都心地区の賑わい、魅力、活力の向上のため、行政と民間事業者が一体となったまちづくりを実施する機運が高まっている。
- ・北九州市では公害を克服した経験をもとに、様々な環境問題への対策を行ってきており、平成20年7月に「環境モデル都市」の認定を受けた。今後は、まちづくりにおいてもより一層の地球環境に配慮した取組みを進めていく。

課題

- ・賑わいを面的に広げるためには、大型集客施設をネットワーク化して、来街者の活発な回遊を促すだけでなく、裏路地などのルート開拓やその沿道の魅力づくりの他、休憩できるスペースなどの整備が必要である。
- ・小倉駅南口周辺は無秩序に建てられた商業ビルや看板、ネオン広告などが混在している他、ゴミのポイ捨てなどによる街の景観の悪化が問題となっている。
- ・世界の環境首都を目指す北九州市の都心として、公共交通の積極的な利用やエコドライブの推奨など、地球環境に配慮した取組みが求められる。

将来ビジョン(中長期)

北九州200万都市圏の都心として、次世代に向けた都市圏の発展を先導していく、躍動的で魅力豊かなまちをつくる

- 都心の魅力再生
 - ・公共交通やバリアフリー化をさらに充実させ、魅力ある店舗が集積する歩いて楽しいまちづくりを進める。(北九州市基本構想・基本計画)
- 都心のシンボル空間形成
 - ・北九州市の顔として魅力的な景観の形成を進め、水辺と緑を活かした潤いと文化の薫るまちづくりを進める。(北九州市基本構想・基本計画)
- 広域都心機能の充実
 - ・北九州都市圏の発展を先導していく、高次な都市機能が集積した、躍動的で魅力豊かな街をつくる。(都市計画マスタープラン)
- 都心居住再生
 - ・多世代の人々が「街なか」居住を楽しみ、心豊か

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
商店街エリアを中心とした歩行者通行量	人/日	小倉都心部の主要地点における歩行者通行量	都心の回遊性向上を定量的に把握するための指標	141,000	平成20年度	177,000	平成25年度
主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	万人/年	整備計画区域内の主要な歴史・文化・コンベンション施設の年間来場者数	都心の賑わい向上を定量的に把握するための指標	147	平成19年度	197	平成25年度
「道の歩きやすさ」に対する評価	%	小倉都心部の道が歩きやすいと感じる人の割合(小倉都心地区来街者アンケート調査による)	道路整備などによる安全で快適な都心の歩行者空間の形成を把握するための指標	49.5	平成19年度	53.5	平成25年度
「夜の安全度」に対する評価	%	小倉都心部の夜が安全であると感じる人の割合(小倉都心地区来街者アンケート調査による)	安全・安心なまちの実現を把握するための指標	13.9	平成19年度	16.0	平成25年度
小倉都心部におけるJR・モノレール駅の年間利用者数	万人/年	JR小倉駅・西小倉駅、モノレール小倉駅、平和通駅、旦過駅、香春口三萩野駅の年間乗降客数	公共交通機関の利用促進を把握するための指標	4,168	平成19年度	4,170	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1（個性的で多彩な魅力とアメニティの豊かさによって、多くの人をひきつける都心をつくる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩いて回遊できるコンパクトさの中に多彩な顔を持つ小倉都心の商業空間の魅力を高めるために、小倉駅周辺、紫川周辺、且過地区、及び、それらを結びつける魚町、京町において、既存の商業集積や周辺環境を活かして、一体的な魅力あるまちづくりを行う。 ・200万都市圏の都心に相応しい品格のある街並み形成を目指し、景観に配慮しながら、道路、公園、広場、水辺などの整備を図る。 ・まちの集客力や賑わいを維持していくために、小倉都心を一体的に捉え、地元のまちづくり団体や民間事業者と協働しながら、イベントや社会実験などを実施する。 ・紫川とその周辺を、北九州市のシンボル空間と位置付け、紫川河畔や勝山公園の豊かな水辺環境と歴史環境を活かした、良好な水辺空間の形成による都市景観の整備を行う。 ・魚町・京町地区は、都心商業の中核的役割を担う拠点として、小倉駅や紫川周辺の賑わい拠点と連携し、都心の回遊軸となる各商店街の個性を活かして、回遊の楽しさを魅力とするまちづくりを図る。 ・小倉城や、勝山公園とその周辺では、一体的な歴史・文化地区として、文化施設の活用を図るとともに、観光客にもアピールできる魅力ある環境形成を図る。 ・北九州市を代表する魅力と風格のある美しい街並みを創出するために、市民や企業と行政の協働による沿道整備を図る。 ・小倉駅北口地区において、陸と海の玄関口に相応しい、北九州市の新たな賑わい空間形成に向けて、シンボルロードやウォーターフロントの整備を図る。 ・夜の賑わいを創出を図ることによって、一日中、小倉都心部で楽しめるようなまちの魅力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉都心サイン整備 ・勝山通り景観整備 ・浅野町線(シンボルロード)整備 ・紫川夜間景観整備 ・勝山公園整備事業 ・快適に回遊できる歩行空間創出事業 ・都心の公共空間活用事業 ・北九州市漫画ミュージアム整備事業 ・中心市街地都市型ビジネス振興事業 ・小倉都心賑わいづくり推進事業 ・提案型まちづくりサポーター支援事業 ・小倉都心プロモーション事業(WeLove小倉プロジェクト) ・アルモニーサンク改修事業
<p>整備方針2（多くの人が集まって、便利に、安全・安心に暮らすことができる都心をつくる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての世代が安全・安心に暮らすことのできる生活環境を形成するため、地元住民の協力や合意形成を図りながら、都市基盤施設の整備を進める。 ・街の中の緑や、水辺のアメニティの充実を図り、都心にふさわしい良好な住環境の整備を進める。 ・街灯の設置、歩道幅員の拡幅、サインの改善等により、安心で安全な歩行者空間の創出を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉都心サイン整備 ・勝山通り景観整備 ・紫川夜間景観整備 ・勝山公園整備事業 ・小倉駅周辺交通アクセス環境整備 ・JR小倉駅北口ペDESTリアンデッキ整備 ・市道浅野29号線 <ul style="list-style-type: none"> ・小倉中央市民センターバリアフリー化事業
<p>整備方針3（人や産業の交流が活発で円滑に行われる、充実した交通機能が利用しやすい都心をつくる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小倉都心に集中する交通を円滑に処理する道路ネットワークの整備を進める。 ・都心地区の回遊性を高めるため、誰もが快適に移動できる道路・歩道の整備を行う。 ・充実した公共交通機関のネットワークを強化し、乗り継ぎや待合などの公共交通利便性の向上を図る。 ・沿道の障害物の撤去や、案内設備の充実を図ることにより、安心して歩ける歩行者空間の創出を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫川東線外 ・室町大門線 ・博労町線 ・城内大手町線 ・大門木町線(大手町工区) ・国道199号 ・市道鍛冶町江南町1号線外 ・市道大手町金田1号線 ・小倉停車場線 ・市道浅野29号線 ・市道原町金田1号線 ・市道浅野33号線外 ・市道堺町3号線 <ul style="list-style-type: none"> ・勝山通り景観整備 ・(仮称)小倉駅北口西駐車場整備 ・小倉駅周辺交通アクセス環境整備 ・JR小倉駅北口ペDESTリアンデッキ整備 ・快適に回遊できる歩行空間創出事業 ・交通結節点整備事業 <p>【協定制度等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティサイクルステーションの設置
<p>整備方針4（世界の環境首都を目指す北九州市のシンボルとなる、地球環境に配慮した都心をつくる）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設や都市基盤の有効活用、長寿命化による環境負荷の低減や、自然エネルギーの有効利用など、地球環境に配慮したまちづくりを進める。 ・小倉都心を訪れる人が、やすらぎ、快適に過ごすことのできる公共空間の整備を行っていく。 ・公共交通機関のネットワークを強化することによって、過度に自家用車に頼らないまちづくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小倉発！エコドラプロジェクト ・紫川エコリバー構想推進事業 ・交通結節点整備事業
<p>その他</p>	

交付対象事業等一覧表

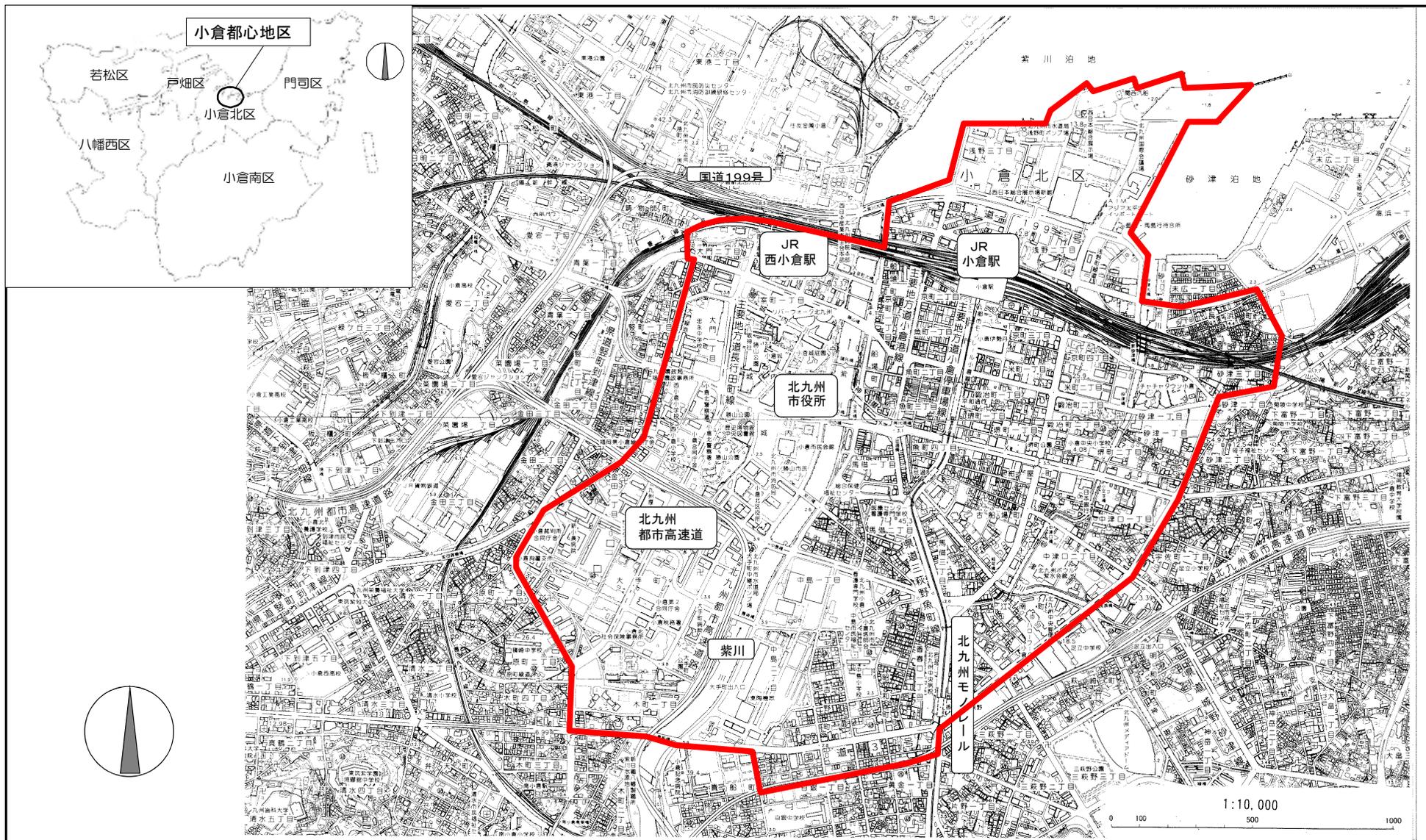
交付対象事業費	10,151.4	交付限度額	4,565.0	国費率	0.45
---------	----------	-------	---------	-----	------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度		うち官負担分	うち民負担分		
道路	街路	紫川東線外	北九州市	直	420m	H3	H27	H21	H25	10,173.0	2,328.6	2,328.6	2,328.6	
		博労町線	北九州市	直	182m	H11	H24	H21	H24	8,815.0	395.9	395.9	395.9	
	城内大手町線	北九州市	直	750m	H9	H25	H21	H25	9,120.0	825.4	825.4	825.4		
	室町大門線	北九州市	直	200m	H22	H25	H22	H25	1,900.0	1,523.1	1,523.1	1,523.1		
	道路	大門木町線(大手町工区)	北九州市	直	230m	H22	H26	H22	H25	950.0	449.2	449.2	449.2	
		国道199号	北九州市	直	500m	H18	H22	H21	H22	25.6	25.6	25.6	25.6	
		市道鍛冶町江南町1号線外	北九州市	直	1,370m	H21	H24	H21	H24	99.3	95.5	95.5	95.5	
		市道大手町金田1号線	北九州市	直	100m	H19	H21	H21	H21	40.0	7.2	7.2	7.2	
		市道原町金田1号線	北九州市	直	750m	H22	H23	H22	H23	43.0	43.0	43.0	43.0	
		小倉停車場線	北九州市	直	190m	H22	H22	H22	H22	16.4	16.4	16.4	16.4	
		市道浅野33号線外	北九州市	直	90m	H21	H23	H21	H23	173.4	173.4	173.4	173.4	
		市道堺町3号線	北九州市	直	16m	H22	H22	H22	H22	3.0	3.0	3.0	3.0	
		市道浅野29号線	北九州市	直	29m	H22	H22	H22	H22	17.0	17.0	17.0	17.0	
		公園												
	河川													
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設		小倉都心サイン整備	北九州市	直	—	H18	H21	H21	H21	168.0	168.0	168.0	168.0	
		浅野町線(シンボルロード)整備	北九州市	直	—	H21	H22	H21	H22	323.1	323.1	323.1	323.1	
高質空間形成施設		(仮称)小倉駅北口西駐車場整備	(財)平成紫川会	間	—	H21	H21	H21	H21	1,160.0	1,160.0	25.0	1,135.0	
		勝山通り景観整備	北九州市	直	—	H16	H26	H23	H25	324.0	131.4	131.4	131.4	
		小倉駅周辺交通アクセス環境整備	北九州市	直	—	H23	H30	H23	H25	139.5	114.8	114.8	114.8	
		紫川夜間景観整備	北九州市	直	—	H17	H33	H21	H25	198.1	60.1	60.1	60.1	
		勝山公園再整備事業	北九州市	直	—	H17	H23	H21	H23	3,486.0	38.6	38.6	38.6	
		浅野町線(シンボルロード)整備	北九州市	直	—	H22	H22	H22	H22	420.0	420.0	420.0	420.0	
		快適に回遊できる歩行空間創出事業	北九州市	直	—	H23	H24	H23	H24	720.9	720.9	720.9	720.9	
		JR小倉駅北口ペDESTリアンデッキ整備	北九州市(財)平成紫川会	直/間	—	H16	H21	H21	H21	766.1	766.1	497.1	269.0	
高次都市施設		小倉駅周辺交通アクセス環境整備	北九州市	直	—	H21	H22	H21	H22	450.9	450.9	450.9	450.9	
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										39,532.3	10,257.2	8,853.2	1,404.0	8,853.2

都市再生整備計画の区域

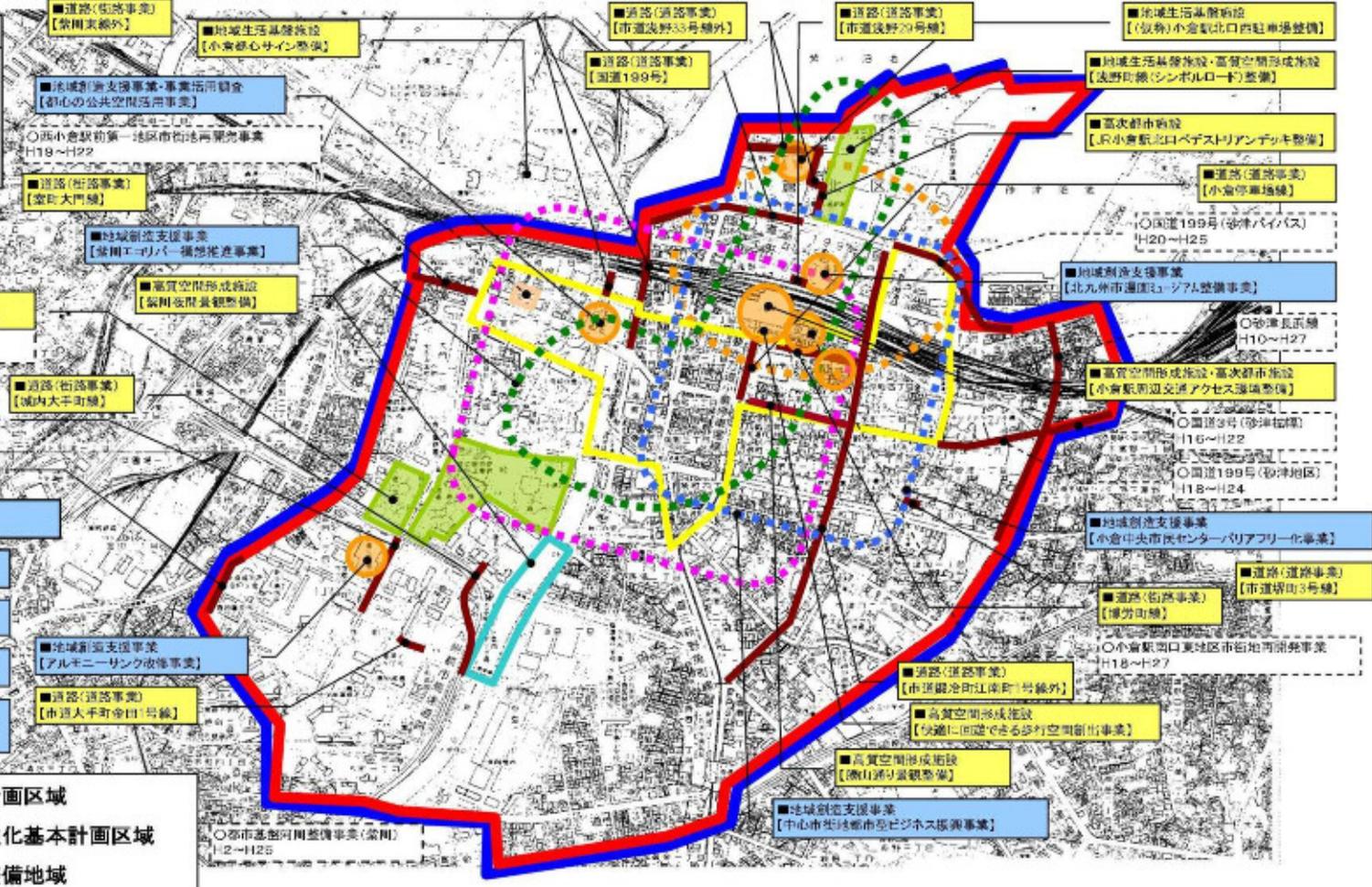
<p>小倉都心地区(福岡県北九州市)</p>	<p>面積 380 ha</p>	<p>区域 小倉北区浅野、魚町、江南町、大手町、鍛冶町、金田、香春口、京町、黄金、米町、木町、紺屋町、堺町、城内、昭和町、白銀、砂津、船頭町、船場町、大門、田町、中島、中津口、長浜町、馬借、原町、古船場町、室町、吉野町</p>
------------------------	------------------	---



小倉都心地区(福岡県北九州市) 整備方針概要図

目標	小倉都心部の魅力を高め、集客活性化を図るため、北九州200万都市圏の中核に相応しい高次な都市機能の充実と、都心部の賑わいづくりを推進する。	代表的な指標	商店街エリアを中心とした歩行者通行量 (人/日)	141,000 (H20年度)	→	177,000 (H25年度)
			主要施設・エネ・コンベンション施設の開業件数 (万人/年)	147 (H19年度)	→	197 (H25年度)
			「道の歩きやすさ」に対する評価 (%)	49.5 (H19年度)	→	53.5 (H25年度)
			「夜の安全度」に対する評価 (%)	13.9 (H19年度)	→	16.0 (H25年度)
			小倉都心部における「中」マナー利用件数 (万人/年)	4,168 (H19年度)	→	4,170 (H25年度)

- 凡例**
- 基幹事業
 - 提案事業
 - 関連事業



- 都市再生整備計画区域
- 中心市街地活性化基本計画区域
- 都市再生緊急整備地域